

## 「男女共学化」及び「全県一学区化」の検証に関するこれまでの審議のまとめ 第4回県立高等学校将来構想審議会への部会報告

### I 高校教育改革に関する検証の実施

#### 1. 検証の経緯

高校教育改革に関する教育庁の各種施策や各学校の教育活動については、行政評価及び学校評価を実施し、その実施状況を把握して成果・課題の評価を行っているが、これらの評価では制度上対象とされないものがあることから<sup>1</sup>、高校教育改革の進捗や成果・課題を的確に把握するためには、既存の評価制度を補完する新しい評価システムが必要である。また、高校教育行政は、義務教育や高等教育と比較すると国の関与が限定的であり、教育委員会の裁量と責任が大きいことから、専門的知識を持った第三者が客観性と透明性を確保しながら施策の有効性や合理性を検証することの意義は大きい。そこで、県立高等学校将来構想審議会では県教育委員会の諮問を受けて、客観的かつ専門的な見地から高校教育改革の取組に関する成果と課題を検証することとした。

#### 2. 検証の目的

高校教育改革を着実に推進し、その実効性を確保していくために、高校教育改革の各種施策・取組の進捗状況や成果・課題について、客観的かつ専門的な見地から検証し、その結果を中長期的な計画の立案に反映させる。併せて、検証のプロセスと結果を適時・的確に県民に情報提供し、高校教育改革に係る県民への説明責任を向上させていく。

#### 3. 検証の内容

- (1) 教育施策の実施状況や、施策の実施に伴う学校現場の状況を把握し、その合理性や有効性を検証するとともに、課題が明らかになった場合には、今後の対応の方向性についても検討する。
- (2) 施策としての合理性や有効性を評価するためには、教育に関する施策・取組が学校現場においてどのように展開され、どのような成果と課題が生じているのかを的確に把握することが重要であり、こうした現状把握の手法について検討する。

#### 4. 男女共学化・全県一学化の検証の実施について

本検証の対象とする施策については、教育委員会の諮問において、「現県立高校将来構想及び新県立高校将来構想の計画期間中（平成13～32年度）に実施され、又は実施が見込まれる施策のうち、『男女共学化』など本県高校教育の制度・枠組みを変更するものであって生徒及び保護者に与える影響が大きいものや、『普通教育や専門教育の体制整備』など社会の変化や時代の要請を踏まえて、その方向性を常に点検していく必要があるもの」とされている。

本審議会では、この諮問理由を踏まえて審議し、「普通教育と専門教育の体制整備」（平成23年9月答申）のほか、「男女共学化」及び「全県一学区化」について検証することとした。

<sup>1</sup> 高校教育に関し行政評価制度がカバーしている範囲は、『宮城の将来ビジョン』において重点施策に位置づけられた予算事業に限られており、男女共学化や全県一学区化などの制度変更や、学校の配置・学科改編は評価の対象となっていない。また、学校評価については、個々の学校の教育活動に関する課題を抽出することは可能であるものの、県立高校全体の課題については把握が困難である。

## Ⅱ 検証方法の検討

### 1. 検証の実施方針

#### (1) エビデンスに基づいた検証の実施

男女共学化及び全県一学区化は、宮城県の高次教育の制度・枠組みを変更する施策であり、生徒及び保護者に与える影響も大きい。こうした生徒及び保護者の期待や懸念に応える検証を行うため、本審議会としては、実証的なデータを幅広く収集して分析し、エビデンスに基づいた検証を実施する。

#### (2) 高次教育の改善につなげる検証の実施

本検証の本質的な目的は、宮城県の高次教育をより良くすることであり、検証により課題が明らかになった場合には、教育庁及び学校現場に対して実効性のある改善方策を提言することである。そのためには、特に、各学校の取組状況を的確に把握することが必要であることから、現状把握のための評価指標を設定するに当たっては、学校現場からフィードバックを受けることとする。また、はじめに定量データの分析を行うが、数値だけでは測定できない部分については、ヒアリング調査などを実施し、定性的な情報も積極的に収集して分析することとする。

#### (3) 説明責任の確保に向けた検証の実施

平成23年9月に答申した「普通教育と専門教育の体制整備」において、教育行政の説明責任を確保していくためには、教育に関する制度や施策の進捗状況や成果・課題を常に検証し、その結果に基づいて施策の見直しを図るとともに、中長期的な計画の立案に反映していくことが重要である旨を指摘している。本審議会としては、男女共学化及び全県一学区化の検証を進める中で、継続的かつ実効的な検証システムの構築に向けて検討することとし、教育施策や学校運営におけるPDCAサイクルの実践に寄与したい。

### 2. 検証の対象

#### (1) 施策のプロセス

男女共学化及び全県一学区化に当たって、教育庁及び各学校において必要な取組が適切に実施され、施策が目指した教育活動が展開されているかといった点について、男女共学化及び全県一学区化の実施に向けた準備段階も含めた施策のプロセスを検証する。

#### (2) 施策の実施による効果

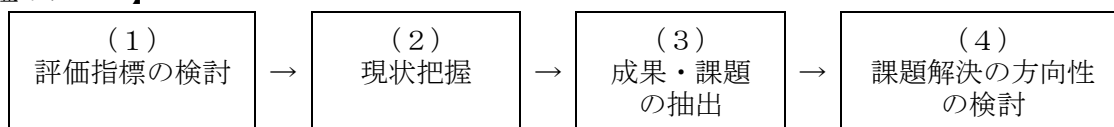
男女共学化及び全県一学区化の実施によって、県立高校将来構想が目指す人づくりがなされているのかという施策の効果を検証することも重要である。ただし、こうした検証は長期的な視点が必要であることに加え、現段階においては評価すべき時期及び評価項目が明らかではない。そのため、当面は、施策のプロセスの検証を進める中で、教育施策の効果の検証の在り方を検討していくこととする。

### 3. 検証の視点

検証の対象	検証の視点
施策のプロセスの検証	(1) 施策の当初の目的は何だったか。
	(2) 施策の実施に向けて、教育庁・各学校において必要な準備が行われたか。
	(3) 施策の実施後に、教育庁・各学校において必要な取組が行われているか。
	(4) 上記(2)(3)の実施により、施策の当初の目的は達成されているか。教育活動において弊害は生じていないか。
施策の実施による効果の検証	(5) 県立高校将来構想が目指す人づくりがなされているか。

### 4. 検証の進め方

#### 【検証のフロー】



#### (1) 評価指標の検討

男女共学化及び全県一学区化の施策目的を整理するとともに、それぞれの施策に関する教育庁及び学校の各種の取組の実施によって期待された成果（アウトカム）を整理した上で、施策目的やアウトカムの達成状況を把握するために必要なデータを検討する。

#### (2) 現状把握

はじめに、施策目的とアウトカムの達成状況を把握するために、定量データを分析する。定量データでは適切に検証できない場合は、適切な調査を設計・実施し、必要なデータを収集する。現段階において、次の方法により定性データを収集する必要があると認識している。

- ① 定量的データ分析に基づきグッドプラクティス及びバッドプラクティスとなり得る学校を抽出し、ケーススタディ（事例調査）を行う。
- ② 高校の現地調査，意識調査等
- ③ 中学校の進路指導教員への意見聴取
- ④ 他都道府県における先行事例の調査

#### (3) 成果・課題の抽出

(2)の現状把握に基づき、教育庁の施策や学校の教育活動・学校経営に関する成果と課題を抽出する。

#### (4) 課題解決の方向性の検討

抽出した課題については、その解決の方向性を検討し、教育委員会への提言として取りまとめる。

### Ⅲ 評価指標の検討

#### 1. 男女共学化及び全県一学化の評価指標について

(別紙1) のとおり。

#### 2. 評価指標の検討に当たっての主な論点

##### (1) 施策のプロセスに関する評価指標

- ① 施策のプロセスの評価は、教育庁及び各学校において必要な取組が適切に実施されているか、学校経営や教育の質の保証の面で課題がないかを的確に把握することが重要であり、本検証では、授業・部活動・学校行事をはじめとする教育活動全般にわたる評価指標を設定する。
- ② 男女共学化や全県一学区化のような大きな制度改革については、時間をかけて経過を見ることが必要だが、いずれの施策も既に実施されており、学校現場で課題が起こっていれば的確に把握して速やかに改善措置を講じなければならない。そのためには、各学校がPDCAサイクルによる学校経営を行うこと、及び教育庁が学校の課題解決に向けた取組に対して必要な支援を行うことが重要であることから、本検証では、男女共学化及び全県一学区化の課題を解決するために、各学校において自己点検と改善のシステムが機能しているか、教育庁は各学校の課題解決に向けた取組に対して必要な支援を適時に実施しているかを検証することとし、現状を把握するための評価指標を設定する。

##### (2) 施策の効果に関する評価指標

県立高校将来構想が目指す人づくりがされているかという教育施策の効果の測定は重要であるが、数値により測定することは困難であると認識している。また、男女共学化及び全県一学区化の効果については長期的な視点が必要であることに加え、いずれの施策も進行中であり施策と成果・課題の因果関係が明確ではないため、現段階においては評価指標も明らかではない。そこで、はじめに施策のプロセスを検証するが、検証を進めるに当たっては、個々の施策・取組が県立高校将来構想の目指す人づくりに寄与しているのかを念頭に置いた上で、データの解釈・評価を行うこととする。この検証プロセスを通じて、教育施策の効果の評価の在り方を見出していきたいと考える。

### Ⅳ 男女共学化及び全県一学区化に関する現状把握

#### 1. 男女共学化

##### (1) 定量データの分析

主に次のデータについて、学校のタイプ別（統合による共学化校・旧男子校・旧女子校）及び学校別に整理し、年次推移を確認するとともに、学校のタイプ別・学校別の特徴を分析した。その概要は、(別紙2) のとおり。

1 年次生徒の男女比，一般入試出願倍率，男女別クラスの編成状況，教員の男女比，生徒の学校評価，運動施設の状況，部活動及び学校行事の状況，学校の沿革・教育方針

## (2) これまでの主な論点

### 【生徒の男女比】

- ① 旧女子校では男子生徒の数が伸び悩んでおり、このままで良いかを議論をすべき。旧女子校が男子に門戸を開放していないのであれば問題だが、実質的に門戸を開放しているにもかかわらず男子比率が上がらないとすれば、それはその学校の特色と把握することも可能か。
- ② 生徒の男女比を見る限りにおいては、共学化は緩やかに進行していると評価してもよいのではないか。

### 【学校経営】

- ③ 各学校の教育方針を見る限りでは、共学化によってどういった点が変わったのかが見えにくく、新しい伝統づくり・新しい特色づくりを目指した取組が実施されているかを調査する必要がある。併せて、共学化前の学校の良いところが共学化後も引き継がれているかも見る必要がある。
- ④ 学校別の学校評価データを見ると、授業や進路指導、学校施設、地域や伝統に根ざした学校の特色づくりといった項目で、学校ごとの特徴が見られる。次のステップとしては、特徴のある学校を中心にデータ分析を進めるとともに、学校経営の状況を調査する必要がある。

## 2. 全県一学区化

### (1) 定量データの分析

主に次のデータについて、地区別及び学校別に整理して年次推移を確認するとともに、地区別・学校別の特徴を分析した。その概要は、(別紙3)のとおり。

一般入試出願倍率、同一地区の公立高校への進学割合、みやぎ学力状況調査(国数英)

### (2) これまでの主な論点

#### 【生徒の地区間流入の促進による影響】

- ① 特定の地区・学校への志願者の集中や生徒の流出に伴う学力低下など、全県一学区化に当たって懸念された事項が生じていないか、今後も継続して見ていく必要がある。
- ② 全県一学区化によって、教育機会の不均等や学力の地域間・学校間格差の問題が生じていないかについて今後も継続して点検する必要がある。

#### 【学力向上の取組】

- ③ 地域の進路指導拠点校では、それぞれ学力向上の取組を実施しているが、教育庁の更なる支援が必要である。支援施策としては、たとえば、教育庁が効果的な自学自習のシステムを構築して入学年次から統一的に実施するなどが考えられる。

#### 【学校経営】

- ④ 地区間移動を過度に促進することは望ましくなく、一学区化による学校の選択肢の拡大と同時に、学校ごとの特色づくりが重要である。地域ごとに高校のバリエーションをつくって、地域内の高校に通えるような施策展開が必要ではないか。
- ⑤ 中学校への情報発信が大切であり、各校においては、たとえば、オープンスクールを充実

させるとともに、参加した生徒の満足度を把握する必要がある。

## **V 今後の検証の進め方**

- (1) 高校教育改革検証部会を中心として、定量的なデータを分析して現状を把握するとともに、中長期的な検証を進めていくための指標の整理を行う。
  
- (2) 第2期審議会の任期末までの審議内容を取りまとめ、次期の審議会に引き継ぐ。

1 男女共学化に関する施策プロセスの検証

(1) 男女共学化の当初の目的は何だったのか。

施策の目的
○県民の負担で設置されている公立高校において性差による入学制限を撤廃する。 ○高校生という多感な時期に、男女が共に学び、理解し、成長し合う場を日常的に設ける。
出典：県立高校将来構想(平成13年3)

(2) 男女共学化の実施に向けて、教育庁及び各学校において必要な準備が行われたか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○施策目的を達成するための体制・仕組みが整備されたか。	○共学化に向けた施設・設備の整備は適切だったか。	○施設整備の状況		●学校施設・設備に対する生徒の満足度
	○共学化に向けた教育目標・教育計画の検討は適切だったか。	○共学準備校への支援の状況	○共学後の教育目標・教育計画の検討状況	
	○共学化に向けた指導体制の整備は適切だったか。	○共学準備校への支援の状況	○共学化に向けた職員研修の実施状況 ○共学化に向けた校則の整備状況	●中途退学率、不登校率 ●いじめの件数 ○中途退学及び不登校の理由 ●教育相談件数
	○共学化に向けた教育相談の体制の整備は適切だったか。	○教育相談の体制整備の状況		●教育相談に対する生徒の満足度
○施策目的を達成するための手段が講じられたか。	○生徒の学校選択のために十分な情報が提供されたか。	○生徒・保護者・中学校指導担当への周知状況	○オープンスクールの実績 ○中学校指導担当への周知状況	○オープンスクールへの参加の有無・満足度 ○県教委・高校・中学校からの情報提供に対する満足度

(3) 男女共学化の実施後、教育庁及び各学校において必要な取組が行われているか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○施策目的を達成するための体制・仕組みが整備されているか。	○共学化に対応した教育目標・教育計画が策定されているか。	○共学化校への支援の状況	●教育目標の内容、策定方法 ○教育計画の内容、策定方法 ○学校の特色づくりの状況	
	○共学化に対応した指導体制が整備されているか。	●教員の男女比	○(共学化により生徒層の変化があった場合)その対応状況	○進路希望の状況 ○進路の状況 ●学力テストの成績 ●授業、進路指導に対する満足度 ●教育相談に対する生徒の満足度(再)
	○教育相談の体制は整備されているか。 ○男女が共に学び、理解し、成長し合う場が日常的に設けられているか。	○教育相談の体制整備の状況(再)	●クラス編成の状況	
○施策目的を達成するための手段が講じられているか。	○男女が共に学ぶ環境を生かした取組が実施されているか。		●学校行事の実施状況 ○部活動の実施状況 ○進路指導の実施状況	●授業・進路指導に対する生徒の満足度(再) ●学校行事、部活動、生徒会活動に対する生徒の満足度(男女別)
	○生徒の学校選択のために十分な情報が提供されているか。	○生徒・保護者・中学校指導担当への周知状況(再)	○オープンスクールの実績(再) ○中学校指導担当への周知状況(再)	○オープンスクールへの参加の有無・満足度(再) ○県教委・高校・中学校からの情報提供に対する満足度(再)
○上記の取組において生じた課題が適切に見出され、対応されているか。	○PDCAサイクルによる学校経営を行うための制度・体制が整備されているか。 ○学校の教育活動において、上記の制度・仕組みが有効に活用されているか。	○各学校の改善措置に対する支援の状況 ○各学校の改善措置に対する支援の状況	○学校運営及び教育活動の点検・改善を目的とした制度・実施体制の整備状況 ○教育活動の点検・改善の実施状況	

(4) 上記(2)(3)の実施により、施策の当初の目的は達成されているか。教育活動において弊害は生じていないか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○生徒の学校選択の機会は拡大しているか。	○性差を問わず学校の門戸が開かれているか。	●共学化の実施状況		●生徒数(男女構成比) ●一般入試出願倍率
	○学校の特色づくりは進んでいるか。		●学校の特色づくりの状況(再)	●学校の特色づくりに対する生徒の満足度
○男女が共に学び、理解し、成長し合う教育活動が行われているか。弊害は生じていないか。	○学習面での制約はないか。		○性別を理由とした科目選択の制限の有無	●授業・進路指導に対する生徒の満足度(再)
	○学校行事、部活動、生徒会活動等における制約はないか。		●男女別部活動数	●部活動参加者数(男女別) ○生徒会役員、学級委員、部活動部長の男女比
	○学校適応、生徒指導上の弊害は生じていないか。			●学校行事、部活動、生徒会活動に対する生徒の満足度 ●中途退学率、不登校率(再) ●いじめの件数(再)
○共学後の伝統・校風に対する生徒の不満はないか。				○中途退学及び不登校の理由(再) ●学校行事に対する生徒の満足度(再) ●学校の特色づくりに対する生徒の満足度(再)

※「検証データ」のうち、●印は検証部会において分析したデータ、○印は今後、収集・整理した上で分析するデータ

## 2. 全県一学区化に関する施策プロセスの

(1) 全県一学区化の当初の目的は何だったのか。

施策の目的
○生徒の学校選択の機会を拡大する。
出典：県立高等学校通学区域見直し方針(平成19年3)

(2) 全県一学区化の実施に向けて、教育庁及び各学校において必要な準備が行われたか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○施策目的を達成するための体制・仕組みが整備されたか。	○共学化に向けた教育目標・教育計画の検討は適切だったか。	○各校への支援の状況	○一学化後の教育目標・教育計画の検討状況	○授業・進路指導に対する生徒の満足度 ●学力テストの成績 ○進路希望の状況
	○全県一学区化に向けた指導体制の整備は適切だったか。	○各校への支援の状況	○各地域の進路指導拠点校の学力向上に向けた取組の実施状況	
○施策目的を達成するための手段が講じられたか。	○生徒の学校選択のために十分な情報が提供されたか。	○各校への支援の状況 ○生徒・保護者・中学校指導担当への周知状況	○オープンスクールの実績 ○中学校指導担当への周知状況	○オープンスクールへの参加の有無・満足度 ○県教委・高校・中学校からの情報提供に対する満足度

(3) 全県一学区化の実施後、教育庁及び各学校において必要な取組が行われているか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○施策目的を達成するための体制・仕組みが整備されているか。	○各校の特色づくりが進められているか。	○各校への支援施策の状況(再)	○教育目標・教育計画の内容、策定方法 ○カリキュラムの編成状況	●一般入試出願倍率 ○授業・進路指導に対する生徒の満足度(再) ●学力テストの成績(再) ○進路希望の状況(再)
○施策目的を達成するための手段が講じられているか。	○生徒の学校選択のために十分な情報が提供されているか。	○制度変更の周知状況 ○各校への支援施策の状況(再) ○生徒・保護者・中学校指導担当への周知状況(再)	○オープンスクールの実績(再) ○中学校指導担当への周知状況(再)	○オープンスクールへの参加の有無・満足度(再) ○県教委・高校・中学校からの情報提供に対する満足度(再)
○上記の取組において生じた課題が適切に見出され、対応されているか。	○PDCAサイクルによる学校経営を行うための制度・体制が整備されているか。 ○学校の教育活動において、上記の制度・仕組みが有効に活用されているか。	○各学校の改善措置に対する支援の状況	○学校運営及び教育活動の点検・改善を目的とした制度・実施体制の整備状況 ○教育活動の点検・改善の実施状況	

(4) 上記(2)(3)の実施により、施策の当初の目的は達成されているか。教育活動において弊害は生じていないか。

検証の視点	検証のチェックポイント	検証データ(案)		
		教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
○生徒の学校選択の機会が広がっているか。	○学校の選択肢は拡大しているか。	●全県一学区化の実施状況		●生徒の地区間の移出入の状況
	○特定の地区・学校に志願が集中していないか。	○地区別の学科・学校の設置状況		●一般入試出願倍率
	○学校の特色づくりは進んでいるか。		○学校の特色づくりの状況(再)	○学校の特色づくりに対する生徒の満足度
○教育活動に弊害は生じていないか。	○学習面での制約はないか。		○各地域の進路指導拠点校の学力向上に向けた取組の実施状況(再)	●学力テストの成績(再) ○授業・進路指導に対する生徒の満足度(再) ○進路の状況 ○進路希望達成率
	○学校行事、部活動、生徒会活動等における制約はないか。			○部活動参加者数 ○部活動、生徒会活動に対する生徒の満足度 ●通学方法

※「検証データ」のうち、●印は検証部会において分析したデータ、○印は今後、収集・整理した上で分析するデータ



### 3. 男女共学化・全県一学区化の実施による効果の検証

#### (1) 施策の実施によって、教育の質は確保されているか。(中間的な効果の評価)

検証のチェックポイント(現段階でのイメージ)	検証データ(案)		
	教育庁の取組	学校の取組	生徒の状況
基本的な生活習慣が定着しているか。	○学校の取組に対する支援施策の実施状況	○生活指導の実施状況	○学校以外の時間の活動内容 ○遅刻、早退、欠席の状況 ○朝食を毎日とる生徒の割合
人間関係を構築し、協力し合うことができるか。		○グループ学習の実施状況 ○部活動、学校行事の実施状況 ○ホームルーム活動の実施状況	●部活動参加者数(再)
規範意識が育成されているか。		○倫理・道徳に関する教育活動の実施状況 ○情報モラル、環境等に関する教育活動の実施状況	○特別指導件数・理由 ●いじめの件数(再)
学力が定着しているか。		○学力定着・向上に向けた取組の内容	○学習動機 ○授業が分かると回答する生徒の割合 ●学力テストの成績(再) ○資格試験・技能検定試験の合格者数
進路・将来に対する意欲が育成されているか。		○志教育の実施状況 ○職業教育の実施状況 ○進路指導の実施状況(再)	○進路希望の状況(再) ○進路達成意欲の状況 ○進路希望達成率
地域社会や国際社会に関わる意欲が育成されているか。		○学校外の教育資源の活用状況	○地域活動、ボランティア活動への参加状況

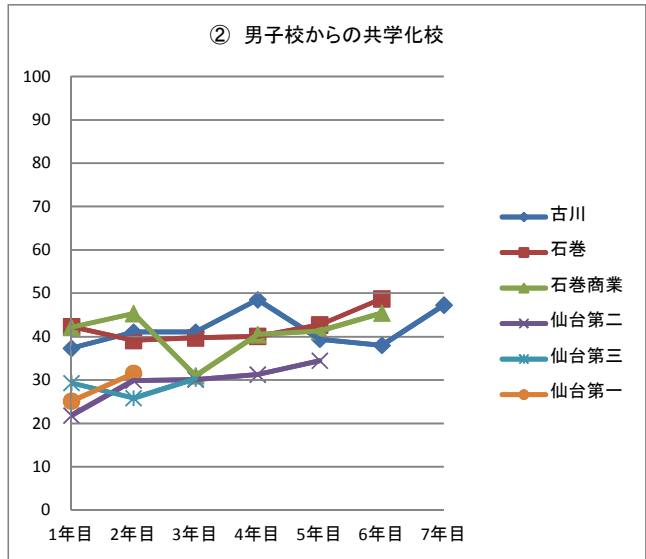
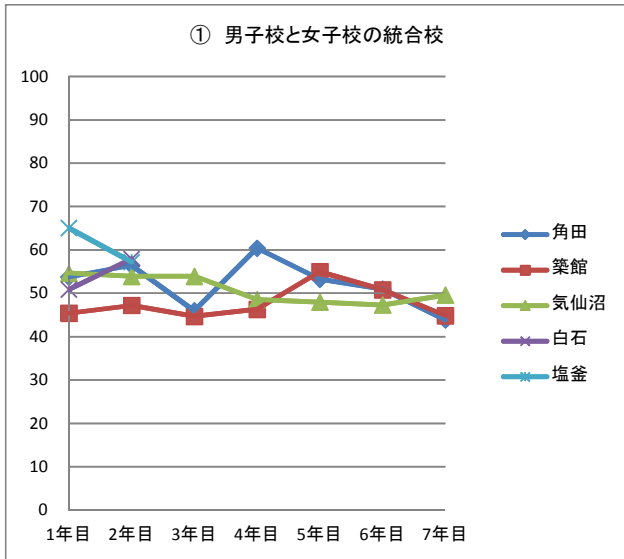
#### (2) 県立高校将来構想が目指す人づくりがされているか。(最終的な効果の評価)

前構想 (H13～H22)	主体的に考え生きる人づくり	○変化の激しいモデルなき時代において、生涯にわたって学び続ける意欲を育成する。
	人々と支え合い生きる人づくり	○多様な価値観を認め合う時代において、ゆたかな創造性と自己責任倫理を育成する。
	地球社会を生きる人づくり	○人間と自然の融合を図る時代において、広い視野と寛容性を育成する。
現構想 (H23～H32)	主体的に生き抜く力の育成	○基礎となる知識や技能を定着させる。 ○基礎的知識・技能を活用していく力を習得させる。 ○自らが果たすべき役割を認識し、主体性をもって自律的に行動できる姿勢を育成する。
	人とかかわる力の育成	○自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なる人を尊重しながら、目標に向けて人と協力できるコミュニケーション能力を育成する。 ○能動的に人との関係を築いていく力を育成する。 ○協調性や柔軟性を育成する。

# (別紙2)男女共学化に関するデータ

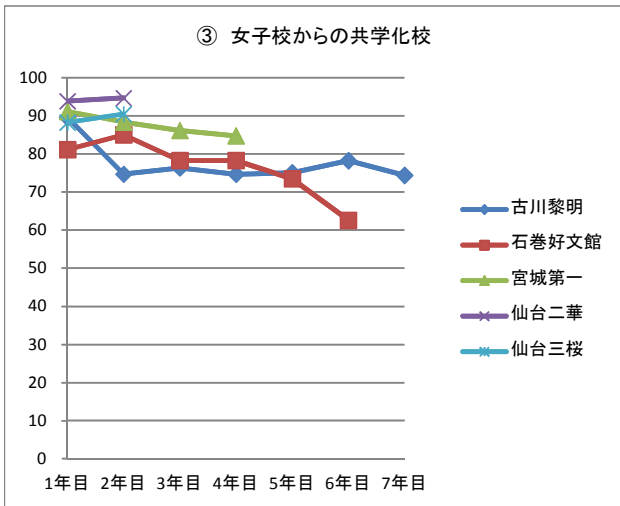
## 1. 生徒男女比の推移(1年次女子生徒の割合)(%)

### (1) 学校のタイプ別



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
角田	53.8	56.5	46.0	60.4	53.3	51.0	43.9
築館	45.4	47.2	44.7	46.3	55.0	50.8	44.8
気仙沼	54.6	53.9	53.9	48.6	48.0	47.3	49.6
白石	50.9	58.0					
塩釜	65.1	57.2					
平均	50.6	50.4	50.1	50.4	50.9	49.4	46.5

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
古川	37.3	41.1	41.1	48.5	39.4	38.0	47.3
石巻	42.3	39.2	39.7	40.1	42.7	48.8	
石巻商業	42.2	45.4	31.0	40.5	41.3	45.5	
仙台第二	21.8	29.9	30.1	31.3	34.5		
仙台第三	29.3	25.9	30.3				
仙台第一	25.2	31.6					
平均	31.7	34.3	34.0	39.3	39.0	44.0	47.3



	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
古川黎明	89.6	74.7	76.3	74.7	75.1	78.2	74.4
石巻好文館	81.1	85.0	78.3	78.3	73.5	62.6	
宮城第一	91.2	88.3	86.2	84.8			
仙台二華	93.8	94.7					
仙台三桜	88.3	90.5					
平均	89.1	86.9	80.7	79.7	74.4	71.2	74.4

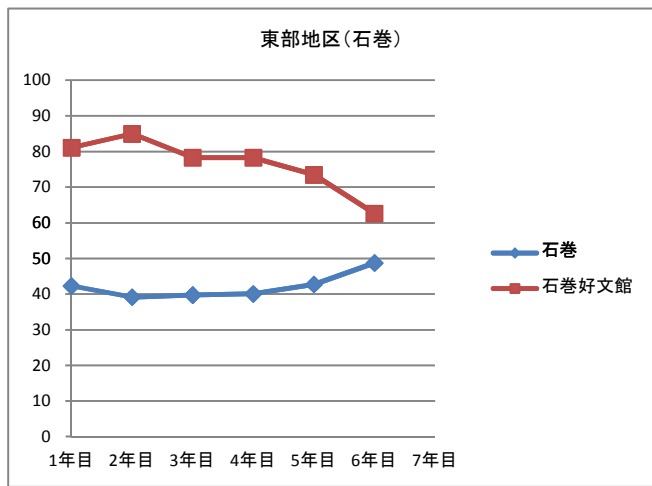
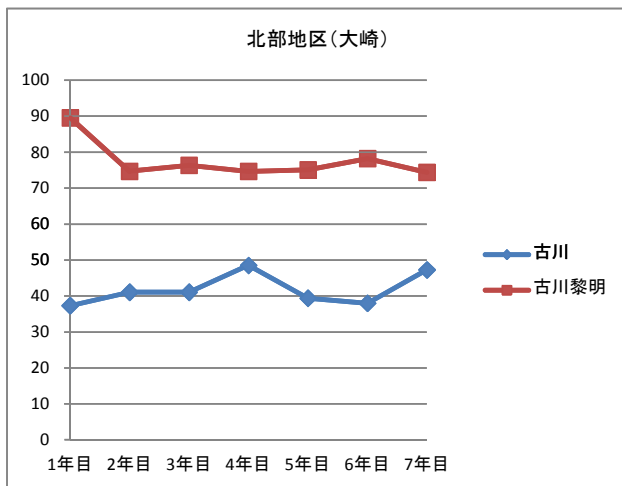
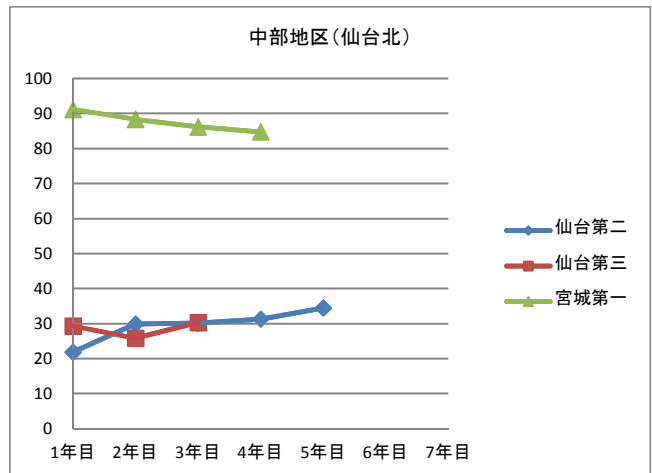
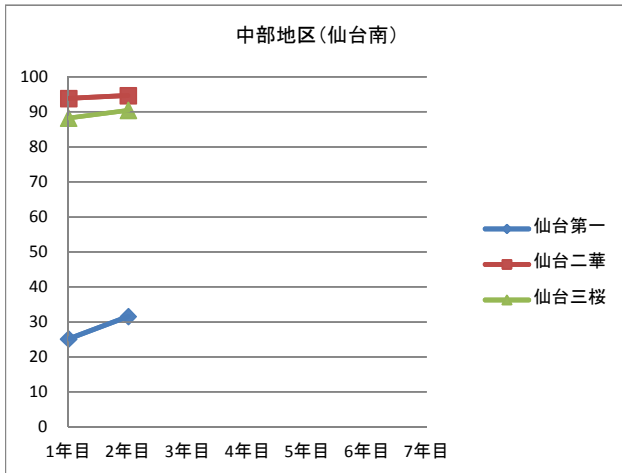
#### ●データ分析

・「統合による共学化校」では、年度によって女子が多くなったり、男子が多くなったりしており、女子の割合は4～6割の間で変動している。

・「男子校からの共学化校」では、女子の割合は増加傾向で推移している。平成23年度においては、共学化から2～5年経過した高校は3割台、6・7年経過した高校は4割台となっている。

・「女子校からの共学化校」全体(平均)でみると、女子の割合は減少傾向にあるが、減少幅は学校によって異なる。

## (2) 地区別



### ●データ分析

- ・地区別にみると、中部地区(仙台南・仙台北)の学校では、他の地区に比べ、男女比の差が開いて推移している。
- ・東部地区(石巻)の2校については男女比が年々近づき、男子生徒及び女子生徒の流動化が進んでいる。

## 2. 一般入試の出願倍率

区分	高校名	学科・コース	一般入試の出願倍率										
			H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
統合による 共学化校	角田	普通科					1.00	1.01	1.19	0.95	0.78	0.95	0.94
	角田	普通科	0.86	0.78	0.92	1.08							
	角田女子	普通科	1.07	0.67	0.89	0.89							
	築館	普通科					0.96	0.88	0.98	0.73	0.86	0.89	0.97
	築館	普通科	1.19	0.88	0.90	0.89							
		理数科	0.58	0.55									
	築館 瀬峰	普通科	0.74	1.05	0.56	0.48							
	築館女子	普通科	0.98	1.01	1.21	1.15							
	気仙沼	普通科					1.05	1.18	1.12	1.03	1.15	1.14	1.01
	気仙沼	普通科	1.06	1.41	1.17	1.35							
	県が浦	普通科	1.14	1.06	1.10	1.20							
	白石	普通科										1.04	1.10
		看護科										1.29	1.88
	白石	普通科	1.10	1.02	0.93	1.34	1.02	0.91	0.89	1.02	1.08		
	白石女子	普通科	1.14	1.07	1.13	0.88	1.10	0.96	1.07	1.29	1.03		
		看護科	1.00	1.69	0.93	2.27	1.04	1.04	1.75	1.17	1.46		
	塩釜	普通科										1.57	1.16
		商業科										2.42	1.50
	塩釜	普通科	1.47	1.43	1.41	1.72	1.28	1.54	1.25	1.32	1.61		
商業科		1.52	1.52	1.79	1.55	2.21	1.65	1.79	1.80	2.36			
塩釜女子	普通科	1.64	1.48	1.62	1.25	1.68	1.71	1.59	1.69	1.56			
小計		1.18	1.12	1.15	1.19	1.20	1.18	1.20	1.15	1.20	1.22	1.09	
男子校から	古川	普通科	1.35	1.18	1.17	1.23	1.26	1.33	1.10	1.39	1.01	1.19	1.24
	石巻	普通科	1.10	1.11	1.04	0.86	1.14	1.15	1.28	1.01	1.07	1.13	1.13
	石巻商業	普通科	1.06	1.38	1.12	0.88	1.03	1.27	1.33	1.12	1.18	1.23	1.29
	仙台二	普通科	1.37	1.29	1.34	1.21	1.43	1.33	1.39	1.22	1.45	1.00	1.16
	仙台三	普通科	1.40	1.41	1.43	1.83	1.67	1.66	1.43	1.36	1.76	1.49	1.65
		理数科	1.40	2.00	2.19	1.71	1.77	1.46	1.67	1.50	2.31	1.69	2.17
	仙台一	普通科	1.27	1.31	1.07	1.28	1.30	1.32	1.21	1.29	1.26	1.94	1.56
小計		1.31	1.30	1.26	1.30	1.38	1.36	1.30	1.26	1.37	1.38	1.39	
女子校から	古川黎明	普通科					1.33	1.14	1.34	0.89	1.22	1.26	1.34
	古川女子	普通科	1.33	1.15	1.16	1.29							
		看護衛生科	0.96										
	石巻好文館(石巻女子)	普通科	0.99	1.12	1.06	1.08	1.18	1.00	1.11	0.98	1.23	1.18	0.97
	石巻女子	普通科	0.99	1.12	1.06	1.08	1.18						
	宮城一(宮一女)	普通科	1.08	1.29	1.26	1.34	1.10	1.26	1.52	1.44	1.37	1.03	1.24
		理数科	0.88	1.35	1.29	1.35	1.33	1.54	0.90	1.35	1.42	1.27	1.31
	仙台二華(宮二女)	普通科	1.14	1.08	1.42	1.41	1.07	1.52	1.24	1.20	1.07	1.50	1.30
	仙台三桜(宮三女)	普通科	1.33	1.57	1.56	1.45	1.30	1.67	1.42	1.56	1.26	1.71	1.74
	小計		1.16	1.25	1.31	1.34	1.20	1.36	1.31	1.25	1.23	1.36	1.34
石巻市立女子	普通科	1.26	1.13	1.36	1.12	1.18	0.97	0.94	1.01	0.83	1.01	0.74	
石巻市立女子商業	商業科	1.03	1.17	0.91	0.95	1.06	0.66	0.64	0.71	0.68	0.45	0.55	
全日制計		1.34	1.31	1.29	1.28	1.27	1.24	1.25	1.24	1.20	1.26	1.22	
前年度差		-	▲0.02	▲0.02	▲0.01	▲0.02	▲0.02	0.00	▲0.01	▲0.03	0.05	▲0.04	
(参考)中学校等の卒業生数		28,560	27,521	26,516	25,552	24,418	23,607	23,481	23,038	22,092	22,797	22,003	
前年度比(%)		-	▲3.6	▲3.7	▲3.6	▲4.4	▲3.3	▲0.5	▲1.9	▲4.1	3.2	▲3.5	

(備考)太線囲み部分は、共学化年度のデータ

網掛け部分は、石巻市立の高校であり、平成23年度現在の別学校。

(資料)宮城県教育庁調べ、学校基本調査(文部科学省)

### ●データ分析

・現時点では、共学化と入試倍率の相関は不明。

### ●現段階の考察

・入試倍率の推移については、学校の特色づくりの状況、オープンスクールの実施状況、卒業生の進路状況などのデータと併せて見ながら、高校進学者のニーズを継続して把握していく必要がある。

### 3. 男女別クラスのある学科の割合(%)

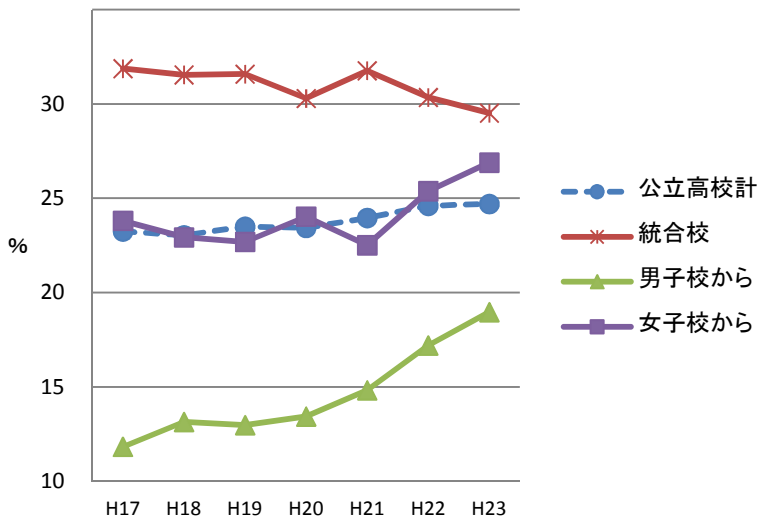
区分	H17年度以降に共学化した高校			左記以外の高校							
	統合校	男子校から	女子校から	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	総合学科	その他
H20年度	0.0	0.0	75.0	26.5	44.4	80.0	0.0	50.0	66.7	16.7	0.0
H21年度	0.0	33.3	50.0	26.5	44.4	80.0	0.0	50.0	66.7	16.7	0.0
H22年度	0.0	14.3	66.7	23.5	33.3	80.0	0.0	50.0	66.7	14.3	0.0

(備考)「H17年度以降に共学化した高校」については、共学化した学年のみを対象としている。

#### ●データ分析

- ・共学化校、それ以外の高校ともに、男女別クラスが編成されている。

### 4. 共学化校における女性教員の割合(%)



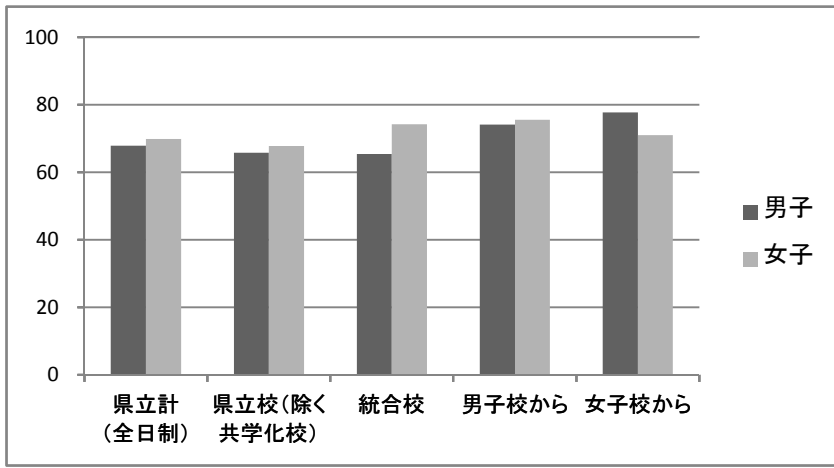
#### ●データ分析

- ・公立高校における女性教員の割合は、微増傾向にあり、平成23年度の公立高校平均は24.7%。
- ・共学化校のうち、旧男子校では、女性教員の割合が相対的に低かったが、年度ごとに平均値に近づいている。
- ・統合校の割合が高いのは、看護学科を設置している学校が平均を引き上げているためである。

## 5. 生徒の学校評価

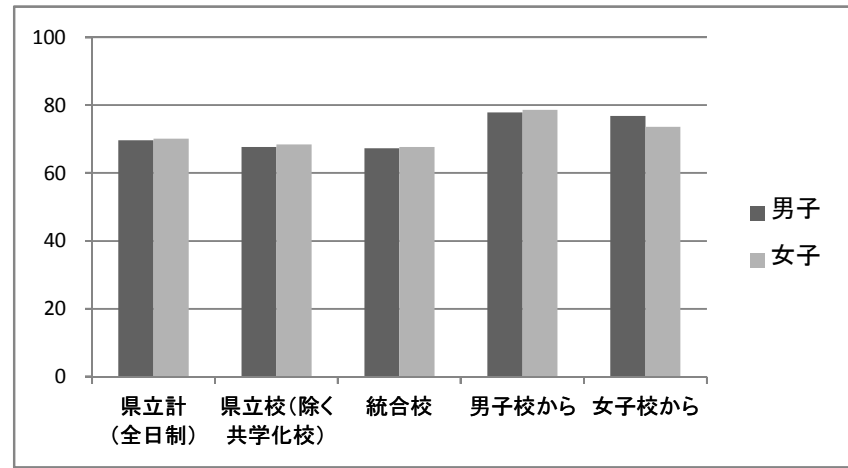
### ①「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	67.9	69.9
県立校(除く共学化校)	65.8	67.8
統合校	65.4	74.2
男子校から	74.1	75.6
女子校から	77.7	71.0

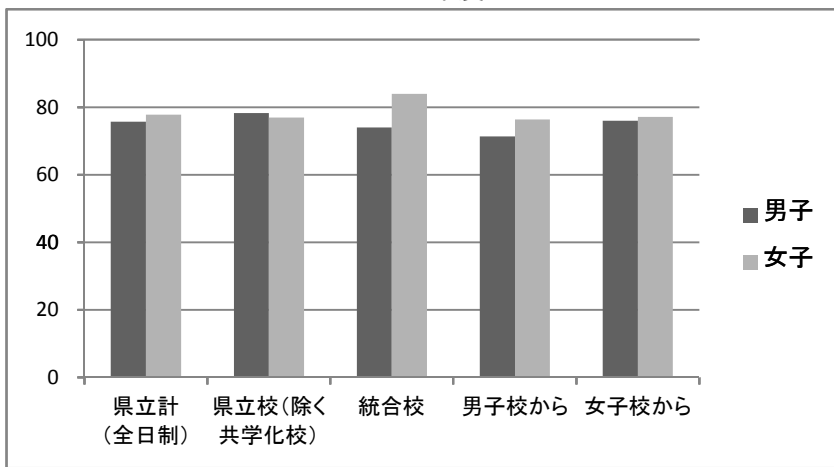
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	69.7	70.1
県立校(除く共学化校)	67.7	68.4
統合校	67.3	67.7
男子校から	77.9	78.6
女子校から	76.8	73.6

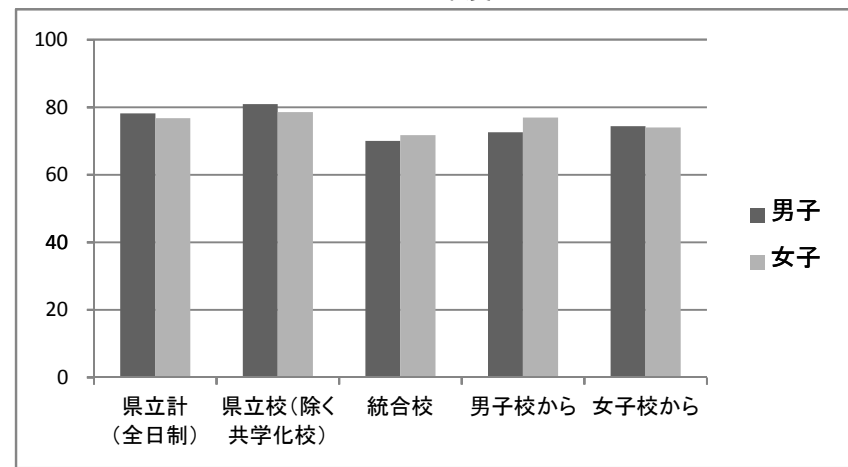
### ②「挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	75.7	77.8
県立校(除く共学化校)	78.3	77.0
統合校	74.0	84.0
男子校から	71.4	76.4
女子校から	76.0	77.2

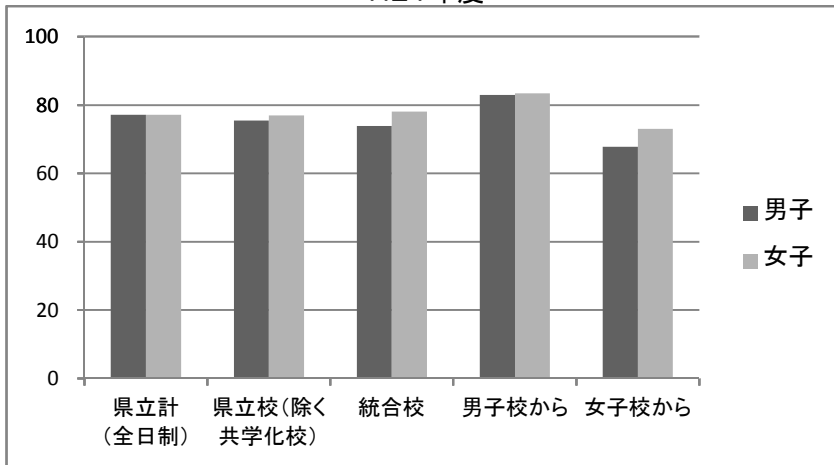
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	78.2	76.8
県立校(除く共学化校)	81.0	78.6
統合校	70.1	71.8
男子校から	72.6	77.0
女子校から	74.4	74.0

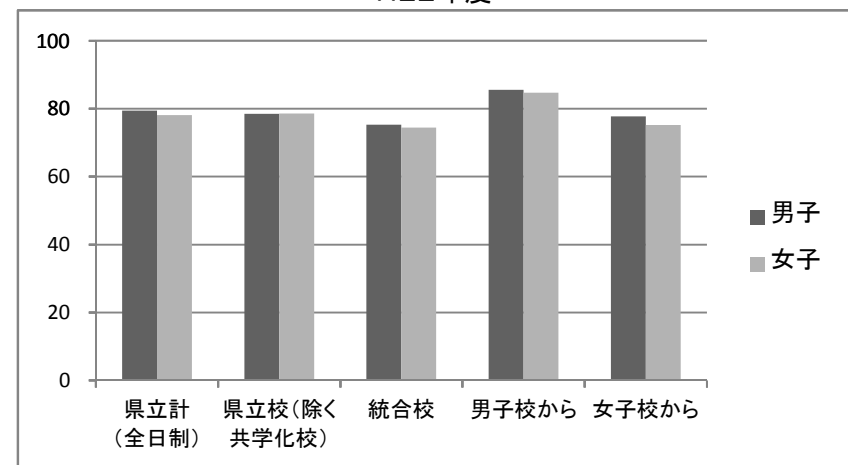
### ③「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	77.2	77.2
県立校(除く共学化校)	75.5	77.0
統合校	73.9	78.1
男子校から	83.0	83.4
女子校から	67.8	73.0

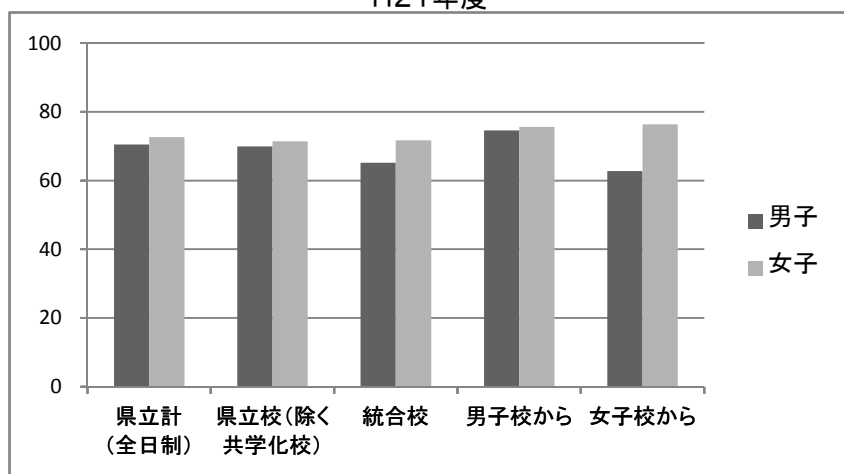
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	79.5	78.1
県立校(除く共学化校)	78.5	78.6
統合校	75.3	74.5
男子校から	85.6	84.7
女子校から	77.8	75.2

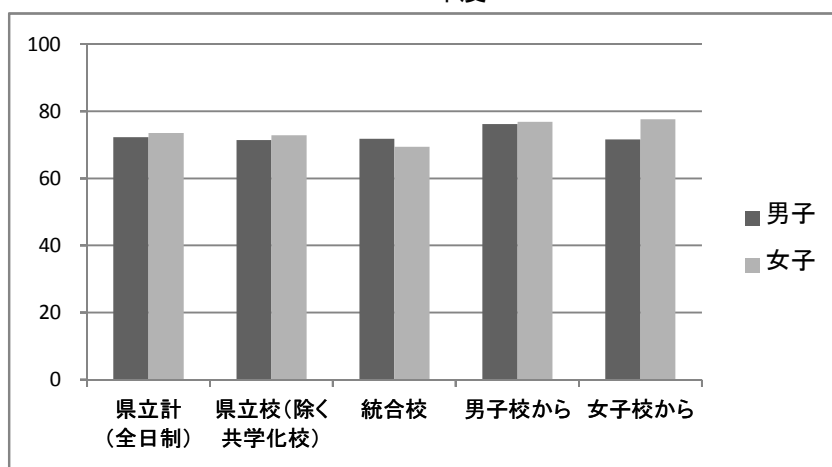
④「教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	70.5	72.6
県立校(除く共学化校)	69.9	71.4
統合校	65.2	71.7
男子校から	74.6	75.6
女子校から	62.8	76.4

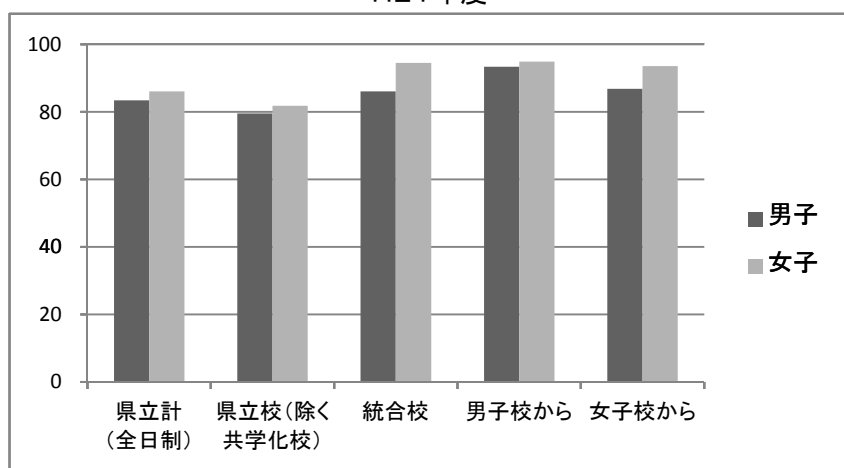
H22年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	72.3	73.5
県立校(除く共学化校)	71.4	72.8
統合校	71.8	69.4
男子校から	76.2	76.8
女子校から	71.6	77.6

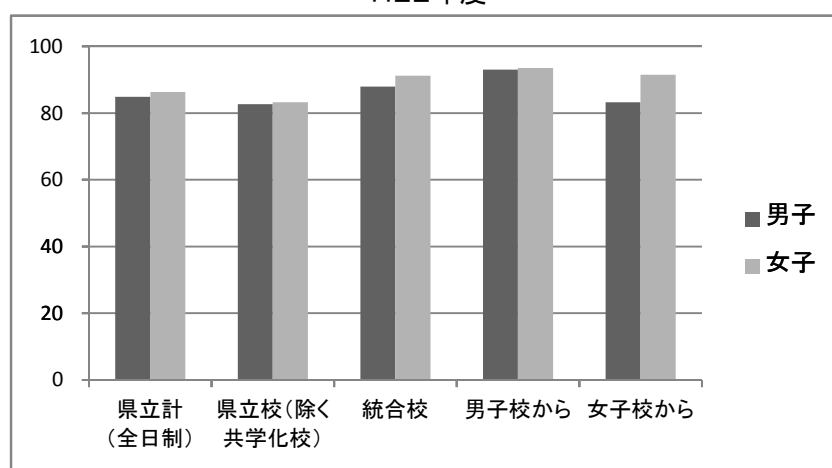
⑤「部活動は活発に行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	83.4	86.1
県立校(除く共学化校)	79.5	81.8
統合校	86.1	94.5
男子校から	93.4	94.9
女子校から	86.8	93.6

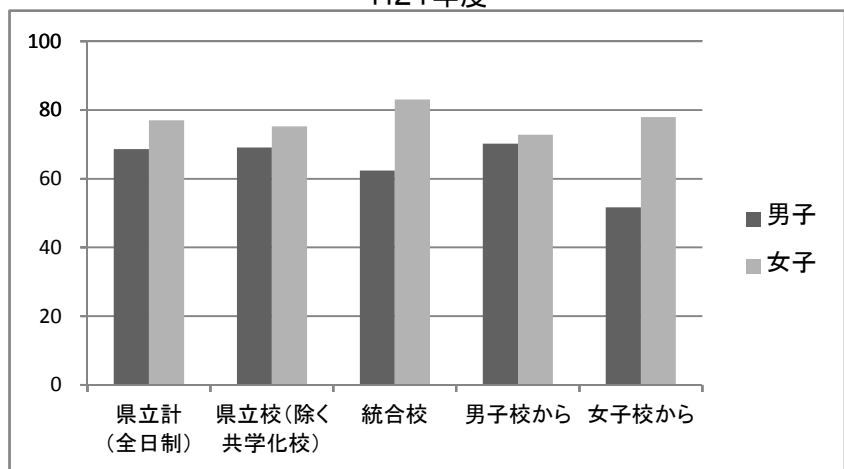
H22年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	84.9	86.3
県立校(除く共学化校)	82.7	83.2
統合校	87.9	91.2
男子校から	93.0	93.5
女子校から	83.2	91.5

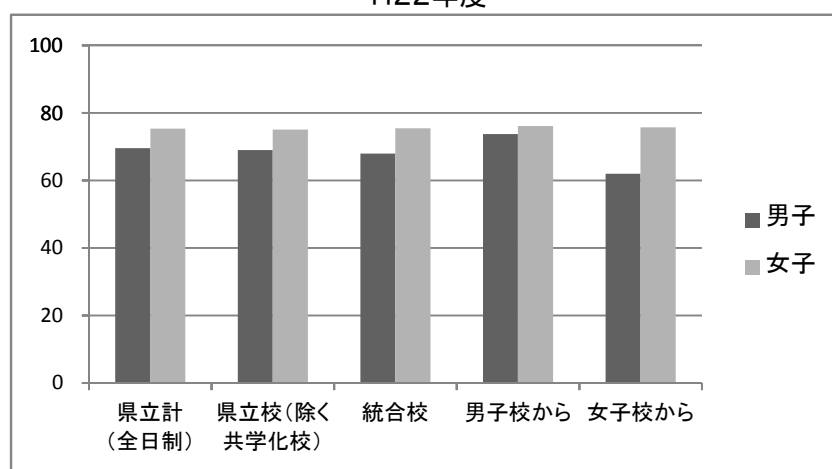
⑥「生徒会活動は活発に行われている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	68.6	77.0
県立校(除く共学化校)	69.1	75.2
統合校	62.4	83.1
男子校から	70.2	72.8
女子校から	51.7	77.9

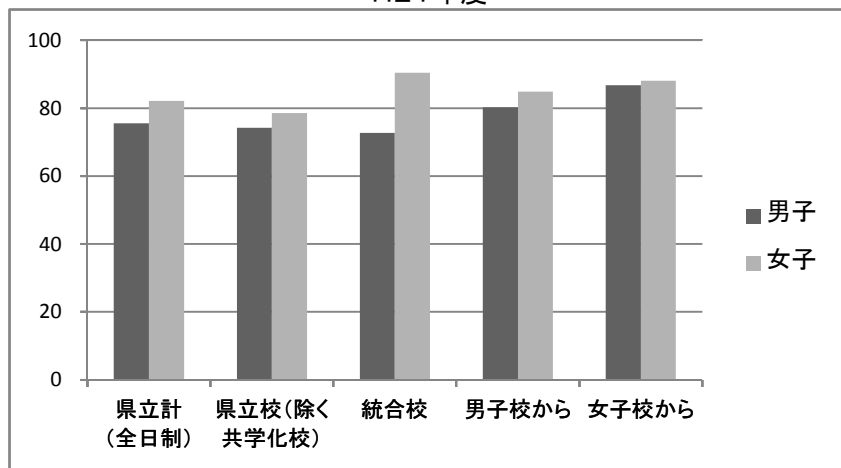
H22年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	69.6	75.4
県立校(除く共学化校)	69.0	75.1
統合校	68.0	75.5
男子校から	73.8	76.1
女子校から	62.0	75.7

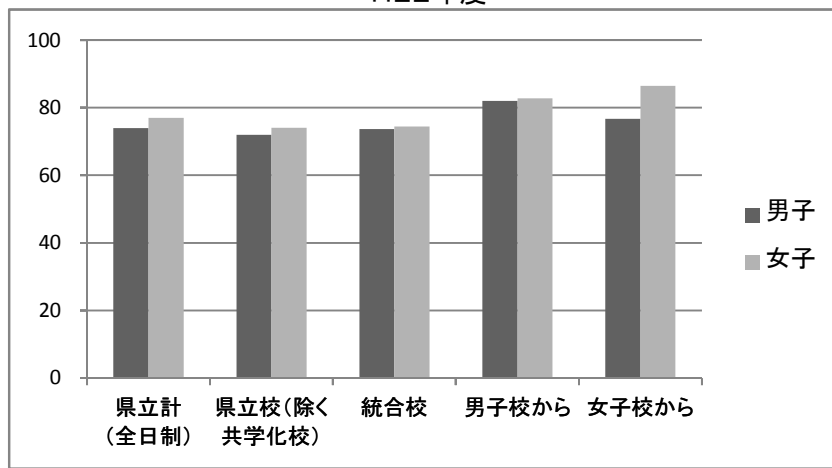
⑦「有意義な学校行事がある」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	75.5	82.1
県立校(除く共学化校)	74.2	78.5
統合校	72.7	90.4
男子校から	80.2	84.9
女子校から	86.7	88.1

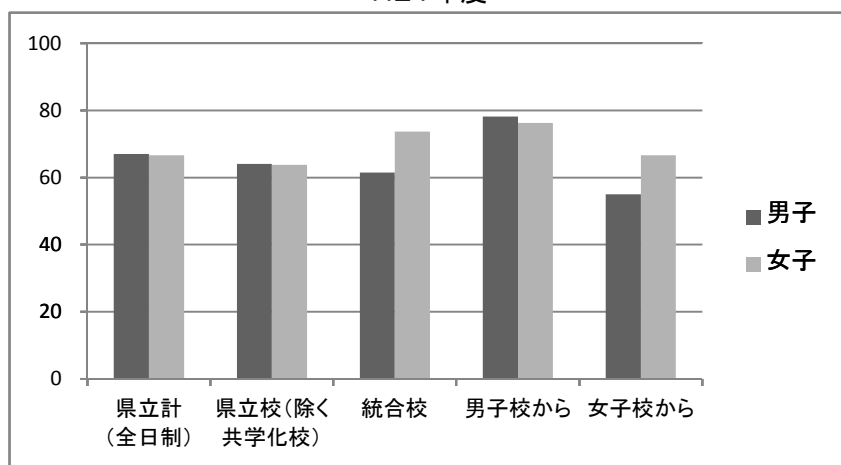
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	74.0	77.0
県立校(除く共学化校)	72.0	74.1
統合校	73.7	74.4
男子校から	82.0	82.8
女子校から	76.7	86.5

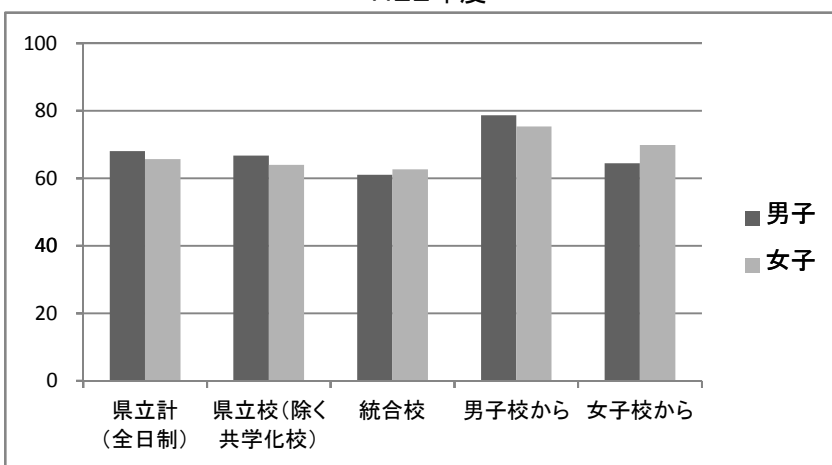
⑧「地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	67.0	66.6
県立校(除く共学化校)	64.1	63.8
統合校	61.5	73.7
男子校から	78.2	76.3
女子校から	55.0	66.6

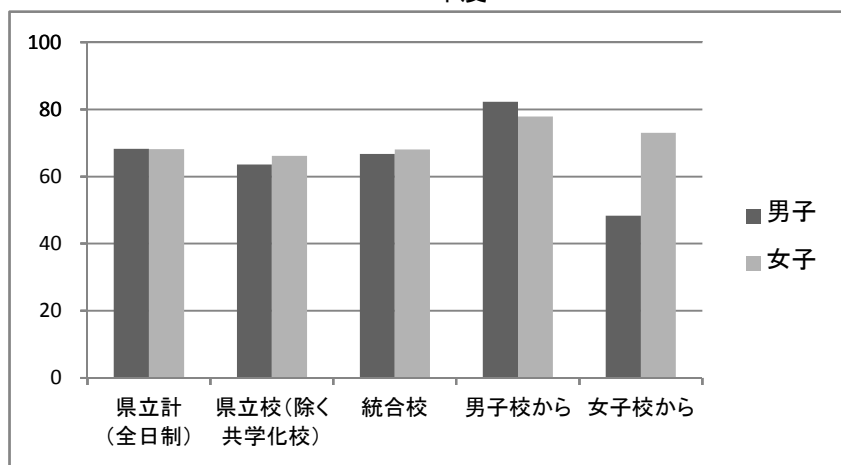
H22年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.1	65.7
県立校(除く共学化校)	66.7	64.0
統合校	61.0	62.7
男子校から	78.7	75.4
女子校から	64.5	69.9

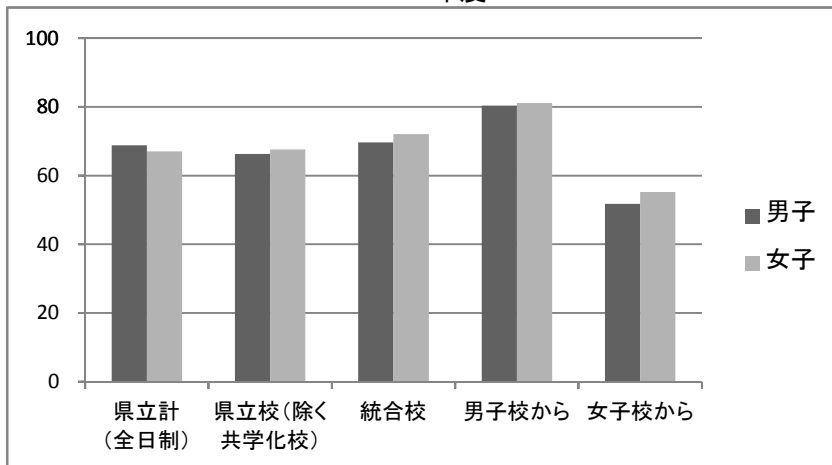
⑨「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.3	68.2
県立校(除く共学化校)	63.6	66.2
統合校	66.7	68.1
男子校から	82.3	77.9
女子校から	48.3	73.0

H22年度

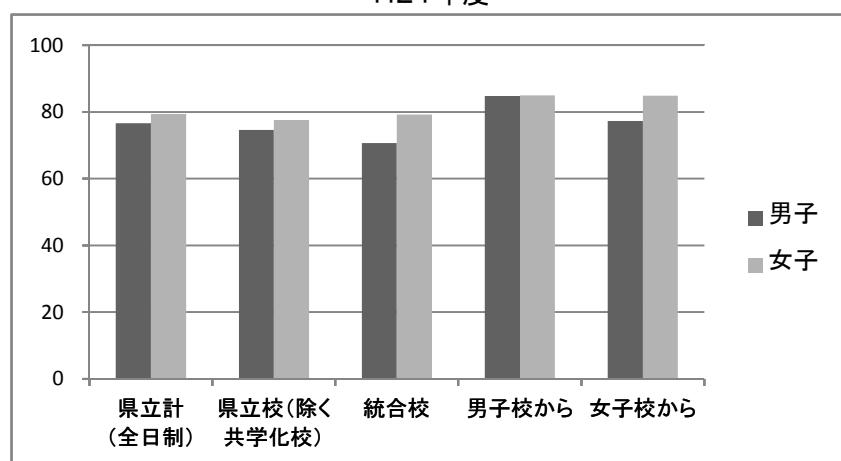


区分	男子	女子
県立計(全日制)	68.8	67.0
県立校(除く共学化校)	66.3	67.6
統合校	69.7	72.1
男子校から	80.4	81.1
女子校から	51.8	55.2



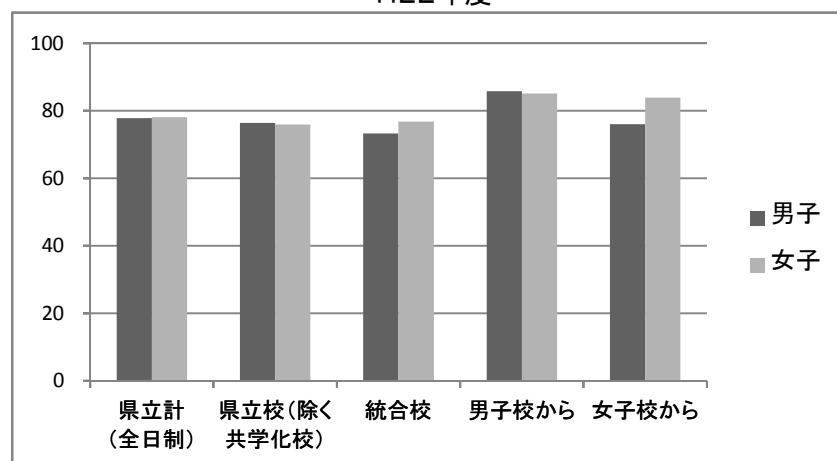
⑩「学校生活は充実している」肯定的評価の割合(%)

H21年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	76.6	79.4
県立校(除く共学化校)	74.6	77.6
統合校	70.7	79.2
男子校から	84.8	85.0
女子校から	77.3	84.9

H22年度



区 分	男子	女子
県立計(全日制)	77.8	78.1
県立校(除く共学化校)	76.4	75.9
統合校	73.3	76.8
男子校から	85.8	85.1
女子校から	76.0	83.9

●データ分析

・平成21年度・22年度の各校の学校評価(共通評価項目)を、「統合による共学化校」、「男子校からの共学化校」、「女子校からの共学化校」のタイプに分けて比較した。

・「男子校からの共学化校」では、生徒の満足度が相対的に高い。

・「女子校からの共学化校」では、「⑨校舎・グラウンド」への評価が低い。特に男子生徒の評価が低い。

・「女子校からの共学校」では、「⑦学校行事」「⑧地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくり」について男女の満足度を比較すると女子の満足度が高い。

●現段階の考察

・「女子校からの共学化校」の男子生徒の「⑨校舎・グラウンド」への評価が低い。そこで、学校別の運動施設の状況や部活動の加入状況を見たところ、運動施設の規模が相対的に小さい学校もあったが、部活動に対する満足度は必ずしも低くなかった。

・共学化に伴う教育環境の整備や教育活動の実施については、学校評価などのデータを手がかりとして指標を設定した上で、評価を行い、成果と課題を明らかにしていく必要がある。

(別紙3) 全県一学区化に関するデータ

1. 一般入試出願倍率

地区	高校名	学科・コース	募集定員 (H22年度)	一般入試出願倍率			前年差			
				H21年度	H22年度	H23年度	H21年度	H22年度	H23年度	
南部	白石	普通科	240		1.04	1.10			0.06	
		看護科	40		1.29	1.88			0.58	
	白石	普通科	-	1.08			0.06			
	白石女子	普通科	-	1.03			▲ 0.26			
		看護科	-	1.46			0.29			
	蔵王	普通科	120	0.63	0.74	0.45	▲ 0.13	0.11	▲ 0.30	
	白石工業	工業科	240	0.99	1.18	1.04	▲ 0.15	0.19	▲ 0.14	
	村田	総合学科	120	0.91	1.01	1.13	0.05	0.11	0.12	
	柴田農林	農業科	160	1.11	1.55	1.09	0.15	0.44	▲ 0.45	
	柴田農林川崎枝	普通科	40	0.82	1.08	0.81	0.13	0.26	▲ 0.47	
	大河原商業	商業科	200	0.69	0.89	1.36	▲ 0.62	0.19	0.47	
	柴田	普通科	160	1.02	1.19	0.87	0.18	0.16	▲ 0.31	
		体育科	40	1.13	1.44	0.93	▲ 0.38	0.31	▲ 0.50	
	角田	普通科	200	0.78	0.95	0.94	▲ 0.17	0.17	▲ 0.01	
	伊具	総合学科	120	0.87	0.94	0.89	▲ 0.04	0.07	▲ 0.06	
	小計		1,680	0.92	1.07	1.00	▲ 0.09	0.15	▲ 0.07	
	中部 (亶理名取)	名取	普通科	240	1.73	1.74	1.40	0.15	0.01	▲ 0.35
			家庭科	40	1.54	1.79	2.17	▲ 0.33	0.25	0.38
名取北		普通科	280	1.61	1.32	1.38	0.19	▲ 0.29	0.06	
亶理		普通科	80	1.21	1.07	1.15	0.09	▲ 0.15	0.09	
		農業科	40	0.93	1.76	0.93	▲ 0.20	0.83	▲ 0.83	
		商業科	40	0.83	1.28	0.82	▲ 0.38	0.44	▲ 0.45	
	家庭科	40	1.20	1.63	0.79	▲ 0.06	0.43	▲ 0.84		
宮城農業	農業科	240	1.42	1.34	1.33	0.17	▲ 0.08	▲ 0.01		
小計		1,000	1.48	1.44	1.31	0.09	▲ 0.04	▲ 0.13		
中部 (仙台南・仙台北)	仙合一	普通科	320	1.26	1.94	1.56	▲ 0.03	0.68	▲ 0.38	
	仙台二華(宮二女)	普通科	240	1.07	1.50	1.30	▲ 0.13	0.43	▲ 0.20	
	仙台三桜(宮三女)	普通科	280	1.26	1.71	1.74	▲ 0.31	0.45	0.03	
	仙台向山	普通科	160	1.19	1.67	1.82	▲ 0.37	0.48	0.15	
		理数科	40	1.50	1.54	2.20	0.25	0.04	0.66	
	仙台南	普通科	280	1.57	1.81	1.78	▲ 0.12	0.24	▲ 0.03	
	仙台西	普通科	280	1.44	1.64	1.49	▲ 0.31	0.19	▲ 0.15	
	仙台東	普通科	240	1.29	1.35	1.40	▲ 0.34	0.06	0.05	
		英語科	40	1.42	0.88	1.50	0.17	▲ 0.54	0.63	
	宮城工業	工業科	320	1.33	1.55	1.67	▲ 0.26	0.22	0.13	
	仙台工業	工業科	200	1.84	1.65	1.83	▲ 0.14	▲ 0.19	0.17	
	仙台二	普通科	320	1.45	1.00	1.16	0.22	▲ 0.44	0.16	
	仙台三	普通科	240	1.76	1.49	1.65	0.40	▲ 0.26	0.16	
		理数科	80	2.31	1.69	2.17	0.81	▲ 0.63	0.48	
	宮城一(宮一女)	普通科	200	1.37	1.03	1.24	▲ 0.07	▲ 0.34	0.21	
		理数科	80	1.42	1.27	1.31	0.06	▲ 0.15	0.04	
	宮城広瀬	普通科	280	1.94	1.74	1.88	0.12	▲ 0.20	0.14	
	泉	普通科	280	1.76	1.44	1.63	▲ 0.02	▲ 0.32	0.19	
		英語科	40	1.50	1.08	1.25	▲ 0.08	▲ 0.42	0.17	
	泉松陵	普通科	280	1.38	1.45	1.26	▲ 0.02	0.07	▲ 0.19	
	泉館山	普通科	280	1.08	1.57	1.37	▲ 0.18	0.49	▲ 0.20	
	宮城野	普通科	160	1.34	1.22	1.05	▲ 0.05	▲ 0.12	▲ 0.17	
		美術科	40	1.31	1.44	1.50	▲ 0.88	0.13	0.06	
	仙台	普通科	80	1.29	1.51	1.54	▲ 0.79	0.22	0.03	
		総合学科	80	1.29	1.51	1.54	▲ 0.79	0.22	0.03	
	仙台	普通科	280	1.73	1.42	1.39	0.25	▲ 0.31	▲ 0.03	
	仙台商業	商業科	320	1.92	1.92	1.69	▲ 0.03	0.00	▲ 0.23	
仙台星陵	普通科	140	0.86	1.38	1.31	0.86	0.52	▲ 0.06		
小計		5,500	1.46	1.52	1.52	▲ 0.08	0.07	▲ 0.00		
中部 (塩釜・黒川)	塩釜	普通科	320		1.57	1.16			▲ 0.41	
		商業科	80		2.42	1.50			▲ 0.92	
	塩釜	普通科	-	1.61			0.29			
		商業科	-	2.36			0.56			
	塩釜女子	普通科	-	1.56			▲ 0.14			
	多賀城	普通科	280	1.11	1.13	1.12	▲ 0.27	0.02	▲ 0.02	
	松島	普通科	200	1.66	1.76	1.65	0.06	0.10	▲ 0.11	
	利府	普通科	200	1.12	1.34	1.16	▲ 0.07	0.22	▲ 0.19	
		体育科	80	1.84	1.41	1.44	0.53	▲ 0.44	0.03	
	黒川	普通科	80	1.43	1.23	1.46	0.39	▲ 0.20	0.22	
		工業科	120	0.97	1.04	1.37	▲ 0.26	0.07	0.33	
		農業科	40	0.97	1.32	1.17	▲ 0.26	0.35	▲ 0.15	
釜谷	普通科	280	1.40	1.50	1.37	0.16	0.10	▲ 0.13		
小計		1,680	1.39	1.44	1.30	0.01	0.05	▲ 0.14		

地区	高校名	学科・コース	募集定員 (H22年度)	一般入試出願倍率			前年差			
				H21年度	H22年度	H23年度	H21年度	H22年度	H23年度	
北部 (大崎)	古川	普通科	240	1.01	1.19	1.24	▲ 0.38	0.18	0.05	
	古川黎明	普通科	240	1.22	1.26	1.34	0.33	0.04	0.08	
	岩出山	普通科	120	0.99	1.00	0.69	0.19	0.01	▲ 0.31	
	中新田	普通科・ア力	80	1.07	1.09	1.18	0.07	0.02	0.09	
		普通科・ビジ	40	1.32	1.07	1.21	0.18	▲ 0.25	0.14	
	松山	普通科	40	0.64	0.78	0.85	▲ 0.14	0.14	0.08	
		家庭科	40	1.04	1.21	0.53	0.04	0.17	▲ 0.67	
	加美農業	農業科	120	0.86	0.81	0.62	0.26	▲ 0.05	▲ 0.20	
	古川工業	工業科	240	1.39	1.11	1.17	▲ 0.09	▲ 0.28	0.06	
	鹿島台商業	商業科	120	0.90	1.04	0.84	▲ 0.17	0.14	▲ 0.20	
	涌谷	普通科	160	0.85	1.06	0.80	▲ 0.22	0.21	▲ 0.26	
	小牛田農林	農業科	80	1.36	1.54	1.13	▲ 0.24	0.18	▲ 0.41	
		総合学科	120	1.04	1.13	0.97	▲ 0.14	0.09	▲ 0.15	
	南郷	普通科	40	0.69	0.53	0.84	▲ 0.48	▲ 0.16	0.32	
		農業科	40	1.20	0.55	0.87	0.26	▲ 0.65	0.32	
	小計		1,720	1.06	1.07	0.99	▲ 0.04	0.01	▲ 0.08	
	北部 (栗原)	築館	普通科	200	0.86	0.89	0.97	0.13	0.02	0.08
		岩ヶ崎	普通科	120	0.88	0.71	0.73	0.08	▲ 0.18	0.02
岩ヶ崎鷺沢校舎 (鷺沢工業)		工業科	40	0.69	0.43	0.51	0.05	▲ 0.27	0.09	
迫桜		総合学科	200	0.85	1.03	1.00	▲ 0.05	0.18	▲ 0.03	
一迫商業		商業科	120	0.49	0.76	0.77	▲ 0.50	0.28	0.01	
小計		680	0.77	0.84	0.88	▲ 0.04	0.06	0.04		
北部 (登米)	佐沼	普通科	240	1.13	0.92	0.96	0.09	▲ 0.21	0.04	
		普通科	120	0.96	1.04	0.75	▲ 0.06	0.08	▲ 0.29	
	登米	商業科	40	1.11	1.23	0.89	0.15	0.12	▲ 0.33	
		普通科	40	0.78	1.03	0.76	▲ 0.04	0.24	▲ 0.27	
	上沼	農業科	40	0.50	1.08	0.71	▲ 0.09	0.58	▲ 0.37	
		普通科	40	0.71	0.50	0.92	▲ 0.18	▲ 0.21	0.42	
	米山	普通科	40	0.65	0.50	0.67	▲ 0.33	▲ 0.15	0.17	
農業科		40	0.65	0.50	0.67	▲ 0.33	▲ 0.15	0.17		
米谷工業	工業科	160	0.66	0.72	0.81	▲ 0.25	0.07	0.09		
小計		720	0.87	0.87	0.84	▲ 0.07	0.00	▲ 0.03		
東部 (石巻)	石巻	普通科	240	1.07	1.13	1.13	0.07	0.06	0.00	
	石巻好文館	普通科	200	1.23	1.18	0.97	0.25	▲ 0.05	▲ 0.21	
	石巻西	普通科	200	1.09	1.10	0.99	▲ 0.01	0.01	▲ 0.11	
	女川	普通科	80	0.55	0.72	0.54	▲ 0.07	0.17	▲ 0.18	
	石巻北	総合学科	240		1.17	1.24			0.07	
	河南	普通科	-	0.96				0.00		
		農業科	-	1.07				0.18		
	宮城水産	水産科	120	0.60	0.85	1.08	▲ 0.02	0.25	0.22	
		工業科	40	0.63	0.68	0.95	0.10	0.06	0.26	
	石巻工業	工業科	240	0.95	1.13	1.07	▲ 0.19	0.17	▲ 0.06	
	石巻商業	商業科	200	1.18	1.23	1.29	0.06	0.05	0.06	
	石巻市立女子	普通科	200	0.83	1.01	0.74	▲ 0.18	0.18	▲ 0.27	
	石巻市立女子商業	商業科	160	0.68	0.45	0.55	▲ 0.03	▲ 0.23	0.10	
小計		1,920	0.94	1.01	0.99	▲ 0.01	0.07	▲ 0.02		
東部 (本吉)	気仙沼	普通科	280	1.15	1.14	1.01	0.13	▲ 0.02	▲ 0.13	
	気仙沼西	普通科	120	1.21	1.30	1.07	▲ 0.08	0.09	▲ 0.23	
	志津川	普通科	120	1.14	0.21	0.65	0.89	▲ 0.93	0.43	
		商業科	40	0.80	0.38	0.62	0.56	▲ 0.43	0.24	
	本吉響	総合学科	120	0.92	1.07	1.27	0.08	0.15	0.20	
	気仙沼向洋	水産科	80	0.98	1.30	1.10	▲ 0.32	0.32	▲ 0.20	
		工業科	40	0.82	1.07	1.09	▲ 0.38	0.25	0.02	
小計		800	1.06	1.08	1.07	0.06	0.02	▲ 0.02		
全 日 制 計		15,700	1.20	1.26	1.22	▲ 0.03	0.05	▲ 0.04		
(参考) 中学校等の卒業生数		-	22,092	22,797	22,003	▲ 4.1	3.2	▲ 3.5		

(資料) 宮城県教育庁調べ、学校基本調査(文部科学省)

## 2. 地区別の公立高校(全日制課程)への進学状況

### (1) 割合

進学した高校の地区 卒業中学校の地区	公立高校(全日制課程)への地区別進学割合																														県内の私立(全日制課程)への進学割合																	
	南部				中部計				中部(亶理名取)				中部(仙台南・仙台北)				中部(塩釜・黒川)				北部(大崎)				北部(栗原)				北部(登米)				東部(石巻)				東部(本吉)											
	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	20年度(%)	21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)												
南部	83.7	87.4	83.3	83.0	7.6	7.0	9.7	10.6	1.7	1.9	3.2	3.9	5.8	5.0	6.4	6.5	0.1	0.2	-	0.1	0.2	-	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-	-	7.3	4.9	6.2	5.8				
中部	1.8	1.5	2.1	2.1	60.7	61.2	58.5	59.5	7.3	7.5	7.1	7.1	40.7	41.0	39.2	40.0	12.6	12.6	12.2	12.4	1.1	1.0	1.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	-	0.0	0.0	-	34.9	35.2	36.9	35.6				
亶理名取	10.6	7.8	12.2	12.1	68.3	71.4	61.7	62.4	31.4	33.5	31.3	31.3	36.6	37.7	30.1	30.6	0.3	0.2	0.2	0.4	0.1	-	-	0.3	-	-	-	0.1	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-	-	20.4	20.0	25.4	24.2				
仙台南・仙台北	0.4	0.3	0.5	0.6	57.6	57.4	57.8	57.2	1.1	1.1	1.7	0.9	55.0	54.5	54.8	55.5	1.4	1.8	1.3	0.9	0.3	0.2	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	0.1	-	-	39.7	40.4	39.5	39.6				
塩釜・黒川	0.1	0.4	0.1	0.2	69.7	67.8	66.1	67.1	0.5	0.3	0.3	0.5	26.9	24.5	24.5	23.8	42.3	43.1	41.4	42.8	4.0	4.0	4.8	4.4	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.2	0.2	0.3	0.5	-	-	-	-	25.1	26.8	27.7	27.2				
北部(大崎)	0.2	0.1	0.1	0.2	3.5	2.5	4.9	4.9	-	-	0.1	-	2.3	1.6	2.6	1.9	1.1	0.9	2.3	3.1	75.2	79.8	74.7	72.3	0.6	0.8	1.5	0.6	0.5	0.6	0.4	0.2	2.2	2.3	3.3	2.6	-	-	-	-	17.4	13.4	14.7	19.0				
北部(栗原)	-	-	-	-	1.0	1.9	0.7	1.2	-	-	-	-	0.9	1.7	0.7	1.2	0.1	0.2	-	-	6.6	7.5	8.8	7.3	77.4	72.8	74.5	74.1	4.9	6.3	4.7	5.5	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	5.5	5.9	4.1
北部(登米)	0.1	0.1	-	-	0.7	0.7	1.6	1.1	-	0.3	-	-	0.6	0.4	1.5	0.7	0.1	-	0.1	0.4	3.6	3.8	3.6	3.3	10.0	11.7	10.3	13.3	72.7	73.0	72.0	70.9	3.9	1.2	3.2	2.7	1.0	1.8	0.8	1.2	5.0	5.1	6.5	4.9				
東部(石巻)	0.3	0.2	0.2	0.2	3.2	3.4	3.2	3.8	0.2	-	0.1	0.1	1.3	1.3	1.5	2.0	1.7	2.1	1.7	1.7	2.2	1.9	1.6	1.9	0.1	0.1	-	-	0.1	0.4	0.1	0.3	87.9	88.6	87.0	86.3	0.1	0.1	0.2	0.1	5.9	5.7	7.2	6.3				
東部(本吉)	0.1	0.4	0.3	0.1	1.0	0.7	0.7	2.0	-	-	0.1	0.1	0.8	0.3	0.6	1.0	0.2	0.3	-	0.9	0.1	0.1	0.2	0.1	-	0.1	-	-	0.3	0.6	1.2	0.9	1.1	0.4	0.5	0.4	83.5	83.8	82.5	84.7	13.2	12.0	13.8	9.5				

(資料)宮城県教育庁調べ

### (2) 前年差

進学した高校の地区 卒業中学校の地区	公立高校(全日制課程)への地区別進学割合																											県内の私立(全日制課程)への進学割合					
	南部			中部計			中部(亶理名取)			中部(仙台南・仙台北)			中部(塩釜・黒川)			北部(大崎)			北部(栗原)			北部(登米)			東部(石巻)			東部(本吉)					
	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度			
南部	▲3.6	▲4.1	▲0.3	▲0.5	2.6	0.9	0.2	1.4	0.7	▲0.9	1.5	0.1	0.1	▲0.2	0.1	▲0.2	0.1	▲0.1	-	-	-	-	0.1	▲0.1	-	0.1	0.0	-	-	-	▲2.4	1.3	▲0.4
中部	▲0.4	0.7	▲0.0	0.4	▲2.7	1.1	0.2	▲0.4	0.0	0.3	▲1.8	0.9	0.0	▲0.4	0.2	▲0.2	0.2	0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	0.4	1.7	▲1.3
亶理名取	▲2.8	4.4	▲0.1	3.1	▲9.8	0.7	2.1	▲2.2	0.0	1.2	▲7.6	0.5	▲0.1	0.0	0.2	▲0.1	-	0.3	-	-	0.1	-	0.1	▲0.1	-	0.1	▲0.1	-	-	-	▲0.4	5.4	▲1.2
仙台南・仙台北	▲0.0	0.2	0.1	▲0.2	0.4	▲0.6	0.0	0.6	▲0.8	▲0.5	0.3	0.7	0.4	▲0.5	▲0.5	▲0.1	▲0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	▲0.1	-	0.7	▲0.9	0.1
塩釜・黒川	0.2	▲0.3	0.1	▲1.8	▲1.7	1.0	▲0.2	▲0.0	0.2	▲2.4	▲0.0	▲0.6	0.8	▲1.7	1.4	▲0.0	0.8	▲0.4	0.1	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.2	-	-	-	1.6	0.9	▲0.6
北部(大崎)	▲0.1	▲0.0	0.1	▲0.9	2.3	0.1	-	0.1	▲0.1	▲0.7	0.9	▲0.7	▲0.2	1.3	0.8	4.6	▲5.1	▲2.4	0.2	0.7	▲0.9	0.1	▲0.2	▲0.2	0.1	1.0	▲0.7	-	-	-	▲4.0	1.4	4.2
北部(栗原)	-	-	-	0.9	▲1.2	0.6	-	-	-	0.8	▲1.1	0.6	0.0	▲0.2	-	0.9	1.3	▲1.6	▲4.6	1.7	▲0.4	1.5	▲1.6	0.8	▲0.1	-	-	-	-	-	0.9	0.4	▲1.7
北部(登米)	0.0	▲0.1	-	▲0.0	0.9	▲0.5	0.3	▲0.3	-	▲0.2	1.1	▲0.8	▲0.1	0.1	0.3	0.2	▲0.2	▲0.3	1.7	▲1.4	3.0	0.3	▲1.0	▲1.1	▲2.7	2.0	▲0.5	0.7	▲1.0	0.4	0.2	1.4	▲1.6
東部(石巻)	▲0.0	▲0.1	0.0	0.2	▲0.3	0.6	▲0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.6	0.3	▲0.4	0.0	▲0.2	▲0.3	0.3	0.0	▲0.1	0.1	▲0.3	0.3	▲0.1	0.7	▲1.6	▲0.7	▲0.1	0.1	▲0.1	▲0.3	1.5	▲0.9
東部(本吉)	0.3	▲0.1	▲0.2	▲0.3	0.0	1.3	-	0.1	0.0	▲0.4	0.2	0.5	0.1	▲0.3	0.9	0.0	0.1	▲0.1	0.1	▲0.1	0.3	0.6	▲0.3	0.2	0.1	▲0.1	0.5	0.3	▲1.3	2.2	▲1.2	1.7	▲4.3

(資料)宮城県教育庁調べ

#### ●南部地区

・南部地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、80%台。  
 ・仙台圏へのアクセスも容易なことから、中部地区の公立高校に入学する生徒は7~10%(150~160人程度)、私立高校に入学する生徒が5~7%いる。  
 ・一方、中部地区からの入学生は、平成21年度161人、平成22年度262人、平成23年度262人。

#### ●北部(栗原)地区

・北部(栗原)地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、75%程度。その他、隣接の北部(大崎)地区に6~8%、北部(登米)地区に5%程度入学している。  
 ・他地区への入学者は90人程度、他地区からの入学者は110人程度で推移している。

#### ●東部(本吉)地区

・東部(本吉)地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、80%程度。同地区の私立高校に入学する生徒を含めると、95%の生徒が同地区の高校に入学している。

#### ●中部地区

・中部地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、60%程度。また、私立高校に35%程度入学している。その他、南部地区及び北部(大崎地区)のJR沿線の高校にも入学している。  
 ・他地区からの進路指導拠点校への入学者は、平成21年度40人、平成22年度58人、平成23年度69人。

#### ●北部(登米)地区

・北部(登米)地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、70%程度。その他、隣接の北部(栗原)地区に10%程度、北部(大崎)地区及び東部(石巻)地区に3%程度入学している。  
 ・他地区への入学者は150人程度、他地区からの入学者は60人程度で推移している。

#### ●北部(大崎)地区

・北部(大崎・遠田)地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、70~80%の間で推移している。また、大崎地区には私立高校が2校あることから、10%台の生徒が私立高校に入学している。  
 ・他地区への入学者は、中部地区及び石巻地区を中心に、平成21年度116人、平成22年度191人、平成23年度159人である。一方、他地区からの入学生は、平成21年度233人、平成22年度264人、平成23年度253人。

#### ●東部(石巻)地区

・東部(石巻)地区の中学校卒業生のうち、同地区の公立高校に入学する生徒は、90%弱。その他、中部地区に3%程度、北部(大崎)地区に2%程度入学している。  
 ・他地区への入学者は110人程度で推移しているところ、他地区からの入学者は、平成21年度61人、平成22年度107人、平成23年度95人と変動があった。

### 3. 地区別・高校のタイプ別の入試倍率, 同一地区からの入学者割合, みやぎ学力状況調査の状況

#### (1) 地区別

地区	中学校・中等教育学校(前期課程)の卒業生数							一般入試出願倍率							同一地区の公立高校(全日課程)への進学割合							県内の私立(全日課程)への進学割合							みやぎ学力状況調査(国数英)偏差値		
	21年度(人)	22年度(人)	23年度(人)	前年度比(%)				21年度	22年度	23年度	前年差				21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	前年差				21年度(%)	22年度(%)	23年度(%)	前年差						
				21-20年度	22-21年度	23-22年度	一学区化後変化量				21-20年度	22-21年度	23-22年度	一学区化後変化量				21-20年度	22-21年度	23-22年度	一学区化後変化量				21-20年度	22-21年度	23-22年度	一学区化後変化量			
南部	1,699	1,762	1,649	▲ 8.4	3.7	▲ 6.4	▲ 2.7	0.92	1.07	1.00	▲ 0.09	0.15	▲ 0.07	0.08	87.4	83.3	83.0	3.6	▲ 4.1	▲ 0.3	▲ 4.4	4.9	6.2	5.8	▲ 2.4	1.3	▲ 0.4	0.8	▲ 0.1	0.2	0.7
中部	13,907	14,349	13,889	▲ 2.4	3.2	▲ 3.2	▲ 0.0	1.45	1.50	1.45	▲ 0.04	0.05	▲ 0.05	0.00	61.2	58.5	59.5	0.4	▲ 2.7	1.1	▲ 1.6	35.2	36.9	35.6	0.4	1.7	▲ 1.3	0.4	0.4	▲ 0.4	▲ 0.0
亘理名取	1,634	1,780	1,719	▲ 8.2	8.9	▲ 3.4	5.5	1.48	1.44	1.31	0.09	▲ 0.04	▲ 0.13	▲ 0.17	33.5	31.3	31.3	2.1	▲ 2.2	0.0	▲ 2.2	20.0	25.4	24.2	▲ 0.4	5.4	▲ 1.2	4.2	2.0	▲ 1.1	0.5
仙台南・仙台北	9,351	9,549	9,351	▲ 0.7	2.1	▲ 2.1	0.0	1.46	1.52	1.52	▲ 0.08	0.07	▲ 0.00	0.06	54.5	54.8	55.5	▲ 0.5	0.3	0.7	1.0	40.4	39.5	39.6	0.7	▲ 0.9	0.1	▲ 0.8	0.7	▲ 0.1	0.0
塩釜・黒川	2,922	3,020	2,819	▲ 4.6	3.4	▲ 6.7	▲ 3.3	1.39	1.44	1.30	0.01	0.05	▲ 0.14	▲ 0.09	43.1	41.4	42.8	0.8	▲ 1.7	1.4	▲ 0.3	26.8	27.7	27.2	1.6	0.9	▲ 0.6	0.4	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 0.5
北部(大崎)	1,968	2,058	2,019	▲ 8.4	4.6	▲ 1.9	2.7	1.06	1.07	0.99	▲ 0.04	0.01	▲ 0.08	▲ 0.07	79.8	74.7	72.3	4.6	▲ 5.1	▲ 2.4	▲ 7.6	13.4	14.7	19.0	▲ 4.0	1.4	4.2	5.6	1.1	0.2	▲ 0.8
北部(栗原)	640	647	615	▲ 11.5	1.1	▲ 4.9	▲ 3.9	0.77	0.84	0.88	▲ 0.04	0.06	0.04	0.10	72.8	74.5	74.1	▲ 4.6	1.7	▲ 0.4	1.3	5.5	5.9	4.1	0.9	0.4	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 2.4	1.8	0.7
北部(登米)	794	817	783	▲ 14.4	2.9	▲ 4.2	▲ 1.3	0.87	0.87	0.84	▲ 0.07	0.00	▲ 0.03	▲ 0.03	73.0	72.0	70.9	0.3	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 2.1	5.1	6.5	4.9	0.2	1.4	▲ 1.6	▲ 0.2	0.3	1.2	▲ 0.6
東部(石巻)	2,130	2,190	2,090	▲ 0.2	2.8	▲ 4.6	▲ 1.7	0.94	1.01	0.99	▲ 0.01	0.07	▲ 0.02	0.05	88.6	87.0	86.3	0.7	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.3	5.7	7.2	6.3	▲ 0.3	1.5	▲ 0.9	0.6	▲ 1.2	0.2	0.2
東部(本吉)	954	974	958	▲ 3.9	2.1	▲ 1.6	0.5	0.94	1.01	0.99	▲ 0.01	0.07	▲ 0.02	0.05	83.8	82.5	84.7	0.3	▲ 1.3	2.2	0.9	12.0	13.8	9.5	▲ 1.2	1.7	▲ 4.3	▲ 2.5	0.2	▲ 2.0	0.2
公立計(全日制)	22,092	22,797	22,003	▲ 4.1	3.2	▲ 3.5	▲ 0.3	1.20	1.26	1.22	▲ 0.03	0.05	▲ 0.04	0.01	69.3	66.7	67.0	0.8	▲ 2.6	0.3	▲ 2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(資料) 中学校等の卒業生数は、学校基本調査(文部科学省、宮城県)、それ以外は宮城県教育庁調べ

#### (2) 高校のタイプ別

学校のタイプ	区分	一般入試出願倍率							同一地区の公立高校(全日課程)への進学割合(%)							みやぎ学力状況調査(国数英)偏差値		
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	前年差			H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	前年差			前年差		
						21-20年度	22-21年度	23-22年度					21-20年度	22-21年度	23-22年度	21-20年度	22-21年度	23-22年度
普通科 (理数科・英語科が設置されている学校を含む。)		1.26	1.24	1.30	1.26	▲ 0.02	0.06	▲ 0.04	84.5	85.0	84.1	84.9	0.5	▲ 0.8	0.7	▲ 0.1	0.2	0.1
進路指導拠点校(仙台市)		1.29	1.36	1.44	1.41	0.07	0.08	▲ 0.03	75.5	76.0	75.0	77.9	0.5	▲ 1.0	2.9	2.0	0.3	2.3
進路指導拠点校(仙台市以外)		1.02	1.07	1.06	1.06	0.05	▲ 0.01	▲ 0.00	94.8	93.5	92.4	93.5	▲ 1.3	▲ 1.1	1.1	0.7	0.1	0.8
普通科+理数科・英語科		1.53	1.53	1.38	1.57	0.01	▲ 0.15	0.19	72.2	75.0	74.3	77.3	2.8	▲ 0.7	3.0	0.8	▲ 1.0	▲ 0.2

(備考) 「同一地区からの入学割合」は各校の割合の単純平均、「みやぎ学力調査」は各校の偏差値の単純平均により算出している。

「みやぎ学力調査」は、H20・21年度は1年次のデータ、H22・23年度は2年次のデータ

(資料) 宮城県教育庁調べ

#### ●データ分析

・同一地区の公立高校(全日制)に入学した生徒の割合は、平成21年度69.3%、平成22年度66.7%、平成23年度67.0%。

・地区別にみると、南部、北部(大崎)、北部(登米)及び東部(石巻)の4地区では、同一地区からの入学者が2年連続して減少している。

#### ●現段階の考察

・北部(大崎)については、一学区化後において、中卒者の数が増加している一方で、入試倍率、同一地区からの入学者の割合、みやぎ学力状況調査の偏差値が低下しており、今後の動向を注視する必要がある。

・一学区化の導入により、進路指導拠点校(仙台市以外)の学力が相対的に低下することが懸念されたが、全体としての低下は見られない。また、地区間の比較で見ると限りにおいては、現段階では、特定の地区への志願の集中は見られない。

・生徒の地区間移動が更に進むか否かは、現段階では読み取れない。今後の推移を継続して見ていくことが必要。また、特定の地区・学力層の生徒にとって、入学試験が厳しくなっていないかについては、今後、他のデータと併せて分析する必要がある。